

27日の東京市場では、日経平均株価は64円高の23,437円と4営業日続伸した。前日の米国市場では主要株価指数が連日の最高値更新となったほか、為替も1ドル=109円台まで円安・ドル高となったことで買いが先行した。日経平均株価は一時23,500円台を回復したが、後場は伸び悩んだ。東証1部売買代金は概算で1兆8,960億円と、2兆円を下回った。業種別TOPIX株価指数では鉱業や非鉄金属などが上昇し、保険業やその他金融などが下落した。

東証1部の売買代金トップはソフトバンクグループ(9984)で0.9%高と反発。2位はソニー(6758)で0.5%高と続伸した。その他の売買代金上位では、キーエンス(6861)や三菱UFJ(8306)などが上昇し、村田製(6981)やトヨタ(7203)などが下落した。

新興市場では、日経ジャスダック平均は0.45%、マザーズ指数も0.73%、それぞれ上昇し、4営業日続伸となった。ジャスダック市場売買代金トップはワークマン(7564)で3.2%高と反発。2位はハーモニック(6324)で6.4%上昇した。マザーズ市場売買代金トップはセルソース(4880)で、ストップ高水準まで上昇。2位のSansan(4443)もストップ高水準まで買われ、取引を終えた。

27日の米国市場で、NYダウ平均は42ドル高の28,164ドルと続伸し、連日の最高値更新となった。米中協議への期待や良好な米経済指標が相場を支えた。S&P500指数は0.41%、NASDAQ総合指数も0.66%それぞれ続伸し、最高値を更新した。

28日の東京市場は底堅く推移しそうだ。前日の米国株は続伸したほか、為替も1ドル=109円半ばまで円安・ドル高傾向となっており、日本株には追い風となろう。円安進行を受けて外需株を中心に買われそうだ。ただ、28日の米国市場は感謝祭の祝日で休場となるため、海外投資家の動きが低調となる可能性がある。大型株が揉み合いとなった場合は、前日と同様に小型株を物色する動きが活況となりそうだ。

## (ご留意事項等)

本資料は、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の有価証券の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。当社は、本資料の内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。また、本資料内に記載された内容等は本資料作成時のものであり、予告なく変更される場合があります。本資料の利用にあたり、投資に関する最終決定を行う場合は、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。

本資料に含まれる情報は、金融市場や経済環境の変化等のために、最新のものではなくなる可能性があります。本資料内で直接または間接的に取り上げている株式は、株価の変動や発行体の経営・財務状況の変化、金利・為替の変動等の要因により、投資元本を割込むリスクがあります。過去のパフォーマンスは将来のパフォーマンスを示唆し、または保証するものではありません。

商号等： あかつき証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第67号

加入協会： 日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

本店営業部	: 03-5641-7810		
八日市場支店	: 0479-72-1331	松阪支店	: 0598-21-6616
成田支店	: 0476-24-2061	長浜支店	: 0749-62-1900
新座志木支店	: 048-473-6441	大阪支店	: 06-6946-9220
武蔵小杉支店	: 044-733-8000	加古川支店	: 079-423-1500
平塚支店	: 0463-22-0920	赤穂支店	: 0791-43-2155
磐田支店	: 0538-33-5211	カスタマーサポートセンター	: 0120-753-960